

11月9日（水）人権参観日

学校全体、また、保護者や地域の方も一緒に人権について考えるため、参観授業が行われました。まずは、各学級で授業を行いました。

1年生「誰もが生活しやすい社会にするためには、何ができるだろう」をテーマにグループで考えました。



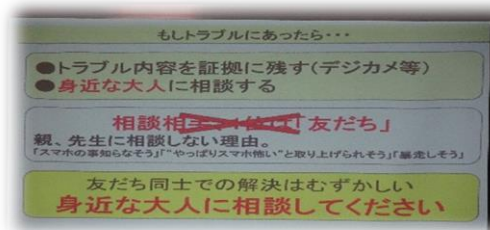
2年生「命をみつめて」命を尊重しあうことの大切さについて学びました。



3年生「統一応募用紙はなぜ作られたのか」守られていない権利のこれからの確立について考えました。



その後、体育館にて人権講演会が行われました。



やまぐち総合教育支援センター

片山 昭治 様「あなたをとりまくネット社会」

講演では、ネットの炎上が、将来にわたって悪影響を及ぼすこと、ネット上のモラルとして「玄関に張り出せること」を書き込むことや、トラブルの際には身近な大人に相談することなどとても参考になるお話をいただきました。

【生徒の感想】

・ネット炎上の原因は、問題行動や法律違反を遊び半分、ふざけ半分によっておこるということが、一番心に残った。

・ネットに何か書き込むときは、自慢になりやすいので、控えめに書いた方がいいと知り、びっくりしました。これからネットに書き込むときは、玄関に張り出される内容で被害者にも加害者にもならないように気をつけたいです。

・一度ネットの世界に流出すると、一生消せなくなるということと、ネット炎上が何年も前のものだとしても、進学や就職、結婚にまで影響してくることを知って、本当に気をつけないといけないと思いました。

・LINEで友達と話すときも、文章を送信する前に、一度読み直すことを習慣化してトラブルにならないように気をつけたい。